

令和7年2月19日
九州地方整備局
武雄河川事務所

ふるさと
令和6年度「手づくり郷土賞」伝達式を行います！

■地域づくりの優れた取組を表彰する「手づくり郷土賞」を受賞された団体に対して、**国土交通大臣認定証の伝達式**を行います。

■受賞団体 特定非営利活動法人 アザメの会

■伝達式

【日時】令和7年2月26日（水）13時30分から（30分程度）

【場所】唐津市役所 3階 災害対策本部室

【概要】九州地方整備局長から受賞団体へ認定証等を伝達。

■現地視察

【日時】 同日 14時45分から（30分程度）

【場所】アザメの瀬自然環境学習センター（資料1参照）

■手づくり郷土賞の概要（詳細については、資料－2～4参照）

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある拳土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和6年度で39回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門。

■取材：報道関係者席を用意しております。取材希望の場合は、「別紙取材登録書」により、事前申し込みを2月21日（金）17：00までをお願いします。

■問い合わせ先

（手づくり郷土賞について）

九州地方整備局 企画部 企画課長補佐 水田 大輔（内線：3155）

TEL：092-471-6331（代表）

（伝達式・現地視察について）

武雄河川事務所 流域治水課長 片瀨 公淑（内線：351）

TEL：0954-23-5151（代表）

(別紙)

取材登録書

会議名：手づくり郷土賞伝達式（2月26日（水））

取材を希望される方は、事前にご登録をお願いします。
下記に「報道機関名、記者名、連絡先」をご記入のうえ、FAXでご返信願います。

FAX 送信期限：令和7年2月21日（金）17：00 まで

FAX 送付先：武雄河川事務所 流域治水課

FAX 番号：0954-23-5193

参加希望の番号に丸印をお願いします。

1. 手づくり郷土賞伝達式 13：30～14：00
2. 現地視察 14：45～15：15

※取材対応は伝達式後に行います。

◆報道機関名

◆記者名（当日会場に来られる方すべて）

- 1) _____
- 2) _____
- 3) _____

◆連絡先（代表者の連絡先・携帯番号等）

◆メールアドレス

（備考）

上記の「◆連絡先（代表者の連絡先）」には、当日に連絡可能な連絡先を記入して下さい。

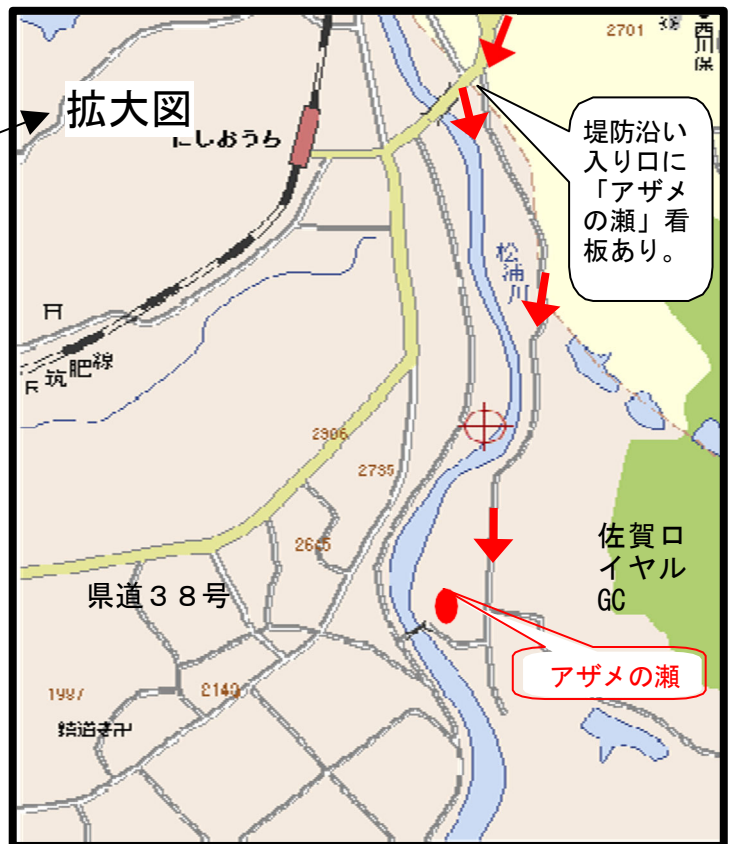
アザメの瀬案内図



カーナビゲーションご利用の方は
西相知駅を目印にお越し下さい



堤防沿い入り口看板



◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和6年度で39回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和6年度）

| | | |
|-----|-------|------------------------------|
| 委員長 | 野澤 康 | 工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授 |
| 委員 | 小浦 久子 | 奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員 |
| 委員 | 斉藤 俊幸 | イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー |
| 委員 | 坂元 英俊 | 一般社団法人 地域観光研究所 代表理事 |
| 委員 | 真田 純子 | 東京科学大学 環境・社会理工学院 教授 |
| 委員 | 西村 浩 | 株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 |

(敬称略)

いのち育む豊かな湿地

(佐賀県・唐津市)

一般公募による一泊二日の
夏休み自然環境教室「アザメの瀬」学習田で収穫した米を
「子ども食堂」に寄贈

<活動内容>

自然環境再生への一助となるべく平成14年に「アザメの会」発足。活動が広く知られ、毎年海外も含め多くの団体が視察に訪れ、視察者からは好評を得ている。訪問者が多いことで、活動にも力が入り、良好な自然環境が維持されている。

地元の相知小学校との連携は22年間継続。3年生から6年生を対象に水生生物調査、自然環境観察、学習田での田植え、魚取り等、年間6回120名程度参加の取り組みが学校行事としても定着。令和4年度からは、収穫した米を唐津市を通じて「子供食堂」にも寄贈、令和5年度からは、アザメの瀬を活用した防災教育も開始、地元小学校との交流は地域の活力にもなっている。

特定非営利活動法人「アザメの会」

<対象となる社会資本>

一級河川 松浦川(アザメの瀬) 管理者:九州地方整備局 武雄河川事務所

<一般部門等の受賞年度> 平成26年度

令和6年度 手づくり郷土賞 認定案件

資料4

<大賞部門>

| No | 地方 | 都道府県 | 市区町村 | 案件名(一般部門受賞年度) | 応募者 | |
|----|----|------|------|---|----------------|------------------|
| | | | | | 地域活動団体 | 社会資本管理団体 |
| 1 | 北陸 | 石川県 | 金沢市 | 犀川大橋架橋100年の地域連携祝祭事業 ～官民連携による取組～(S61) | 金沢片町まちづくり会議 | 北陸地方整備局金沢河川国道事務所 |
| 2 | 九州 | 佐賀県 | 唐津市 | いのち育む豊かな湿地(H26) | 特定非営利活動法人アザメの会 | 九州地方整備局武雄河川事務所 |

<一般部門>

| No | 地方 | 都道府県 | 市区町村 | 案件名 | 応募者 | |
|----|----|------|---------|---|--------------------------|-------------------------|
| | | | | | 地域活動団体 | 社会資本管理団体 |
| 1 | 関東 | 茨城県 | 桜川市 | 登録有形文化財を活用したまちづくり ～地域に広げる活動の輪～ | ディスカバーまかべ、眞壁街並み案内ボランティア | 桜川市 |
| 2 | | 茨城県 | 美浦村 | 霞ヶ浦の豊かな水辺環境の再生へ向けて ～小さな自然再生から広がる人と水辺のふれあい～ | NPO法人水辺基盤協会 | 関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所 |
| 3 | | 栃木県 | 日光市 | いつも魚にあえる川づくり ～日光市のニッコウイワナ復活プロジェクト～ | ニッコウイワナに学ぶ会 | |
| 4 | | 神奈川県 | 平塚市 | 自然の遊び場「馬入水辺の楽校」づくり | NPO法人暮らし・つながる森里川海 | |
| 5 | 中部 | 愛知県 | 名古屋市ほか | 「川の汚れは心の汚れ」 ～きれいな水とあたたかい社会を取り戻す～ | やだ・しょうないがわ矢田・庄内川をきれいにする会 | |
| 6 | 近畿 | 滋賀県 | 大津市 | 木の岡ビオトープ ～琵琶湖南湖、湖岸に残された生物多様性に富んだ地域～ | おにぐるみの学校 | |
| 7 | | 京都府 | 福知山市 | 福知山に新たな「サードプレイス」を構築 | サードプレイスツーリズム協議会 | 福知山市 |
| 8 | 中国 | 鳥取県 | 若桜町、八頭町 | 昔のR29、今のR29、これからのR29 ～これらすべてを大切に～ | R29活性化委員会 | 中国地方整備局鳥取河川国道事務所 |
| 9 | | 広島県 | 広島市 | 井口・鈴が峰の魅力づくりと歴史の伝承活動 | 井口・鈴が峰魅力づくり委員会 | |
| 10 | | 山口県 | 長門市 | ながと大内湯けむり街道 ～今も昔も人と歴史を繋ぐ北道筋～ | ながと大内湯けむり街道協議会 | |
| 11 | | 四国 | 高知県 | 奈半利町 | 奈半利町ふるさと海岸をフル活用した地域振興 | 奈半利町みなと未来会議、一般社団法人なはりの郷 |